

4月15日（月） 全校朝会 校長先生のお話です

～どのクラスも1年間良い授業ができるように

そして、明るく笑顔であいさつができる一小に～

「おはようございます」

お話をします。

先週の入学式には5年ぶりに6年生が参列しました。6年生の歌声、児童代表の言葉、やはり、6年生が参列したことで、入学式が今までよりも壮大で緊張感のある儀式になりました。入学式に向けての練習は、前の週の金曜日と当日の本番前のわずかな時間でしたが、学校の代表であることをよく自覚して入学式に臨んでくれたと思います。来年度の6年生も同じ条件です。今年度できたことで、来年度につながることができました。6年生による1年生の朝のサポートや、あいさつ隊など6年生が後輩たちのお手本になることもつながっています。

さて、今年度の学校のテーマは、開校40周年のスローガンにあった「希望の未来へ」に向けて、開校41周年を、今までみんなで積み重ねてきた実績をつないでいくことです。今日はもう少し具体的にみなさんにこうしたことを目標に頑張ってもらいたいということを2つお話します。特にあたらしいことではありません。

まずは、常日頃から校長先生のお話している学校生活で一番大事なことは授業であるということです。これを1年間続けられるように、すべてのクラスで実現できるようにしてもらいたい。今年は、先生方にこんなお願いをしました。先生方も「教師は授業で勝負」という高い意識を持って授業に臨んでもらいたい。教える側と授業を受ける側とが高い意識を持つことで、良い授業、おもしろい授業、楽しい授業ができます。これをすべてのクラスで1年間できるようにしてもらいたい。このことができるようになれば、前の年度の大きな課題であった忘れ物も改善していくことでしょう。

もう一つは、始業式で6年生の代表児童が言ってくれた。コロナ禍前にできていた明るく笑顔であいさつができる清新一小を取り戻すことです。これも校長先生が何回もお話しました。先週の朝のあいさつでは、今までより取り戻してきた印象を受けましたが、まだまだです。明るく笑顔であいさつができることは、授業と同じくらい大事なことです。

この2つのことは、努力することだけでなく、必ず達成してもらいたい目標です。

今週から、時間割通りの授業が始まります。5・6年生は専科の先生による授業がスタートします。良いスタートができるようにしましょう。次の全校朝会では、それぞれの学年の目標をお話したいと思います。お話を終わります。